

久保田たかし活動最前線

発行：久保田たかし後援会・太田市民懇話会

令和4年度決算を認定しました

9月4日から9月28日までの間で行われた9月定例会では令和4年度の決算審査や今年度の補正予算審議が行われ、すべて原案のとおり可決承認されました。今定例会では一般質問に立ち、太田強戸SIC周辺開発と各種選挙における投票率の課題について議論しました。また、決算委員として決算特別委員会で審査に参加しました。

令和4年度決算の概要

◆市民生活に寄り添う施策を推進

令和4年度の経済環境は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあります。一方で世界的なエネルギー・食料価格の高騰など市民生活を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そのような中、本市では基幹収入である市税が約389億円と増収となりました。

子育て世代への支援として学校給食費の完全無償化に向け、まず令和4年10月から中学生の無償化に取り組みました。また、幼稚園・保育園・認定こども園に通う3歳以上の児童及び非課税世帯の2歳児までの保育料無償化により、引き続き保護者の経済的負担を軽減しました。

高齢者福祉では、ひとり暮らし高齢者のお宅にふれあい相談員による見守り活動を実施し、65歳以上の高齢者のみの家庭を対象に、補聴器購入費用助成制度を新たに実施しました。

経済対策としてプレミアム付きデジタル地域通貨OTACOを発行し、地域経済の活性化を支援しました。

本市が掲げる「スポーツを通じたまちづくり」を具現化するため、オープンハウスアリーナ太田の竣工、運動公園中央通路整備、中学校屋内運動場空調設備設置、第2サッカーラグビー場の取得など、スポーツ環境整備を行いました。



一般質問の様子

◆一般会計決算の概要

令和4年度の一般会計における歳入総額は932億8869万7千円、歳出総額は885億9743万1千円で、前年度に比べ歳入は0.6%の増、歳出は0.4%の減となりました。

歳入歳出差引額は46億9126万1千円となり、今年度への繰越事業に充当する14億474万9千円を差し引いた実質収支は32億8651万7千円の黒字となりました。条例の定めにより財政調整基金に31億円を積立て、差し引き1億8651万7千円を繰越金としました。

歳入では使い道の自由度高い自主財源である、市税が4.4%、財産収入が38.7%、寄付金が100.6%の増などで、自主財源総額で前年度比9.9%の増となりました。

【令和4年度決算収支の状況】

区分	金額	備考
歳入総額 ①	932億8869万7千円	対前年度比 +0.6%
歳出総額 ②	885億9743万1千円	対前年度比 ▲0.4%
歳入歳出差引額 ③	46億9126万6千円	(①-②)
翌年度に繰り越すべき財源 ④	14億474万9千円	(令和5年度繰越事業へ充当)
実質収支 ⑤	32億8651万7千円	(③-④)
財政調整基金積立金 ⑥	31億0000万0千円	(条例の定めによる積立金)
繰越金 ⑦	1億8651万7千円	(令和5年度へ繰り越し)

一般質問の主な内容（抜粋）

◆太田強戸S I C周辺開発について

久保田 新たに開発を計画している強戸産業団地の概要はどのようなものか。

産業環境部長 現在、本市の主要産業である自動車産業の好調を背景に、市内外の企業から工業用地の引き合いが寄せられている。市内の既存工業団地はすべて分譲済みで対応できない状況であることから、新たな産業団地の造成を計画している。

候補地については、東毛広域都市計画マスタープランの産業拠点であること、太田強戸S I Cからのアクセス性に優れていること、さらに産業団地として適切な一定規模以上の面積が確保できる強戸地区を選定した。

久保田 計画している約34haの土地にはスーパーなどの商店や食堂など生活利便施設はできるのか。

産業環境部長 工業用地として造成を計画しているため、用途地域は工業専用地域となる。そのため商店、店舗の建設は認められない。

久保田 ハ王子山公園の魅力低下を感じている。市民が集う場所として魅力を上げるために思い切ったリニューアルが必要だと思う。

市長 国のデジタル田園都市構想交付金を活用して大胆に変えていくのが良いと思う。ゴーカートやジップライン、北の方にサウナ付きのオートキャンプ場なども含めて国の交付金事業に乗れないか検討している。その運営についても民間運営を中心に検討していかなければならない。全体をもう一度見直して、新たなアイデア、新たなアクションを入れてアクティブな場所にしていければいいと思う。

久保田 太田強戸S I C下の1.6haの市有地は土地計画法上の立地基準を満たせば建設可能なものがあるにもかかわらず実現していない。今後どのような活用を考えているのか。

都市政策部長 地元との協議を進めながら、S I C周辺及びハ王子山公園を含む開発計画を検討しつつ民間活力も使った整備を考えている。

久保田 あの土地を所管しているのは都市政策部だが、市街化調整区域だ、農地だ、産業だ、観光だとなると多くの部署が関わってくる。その職員たちがアイデアを出し合う、そういう場を作ったらどうか。

市長 いろいろな考え方があると思うので、聞く耳をいっぱい持ちながら、いろいろな意見を聞きながら、また、地域の人と絡めるような場所になればと思っている。あそこは使いにくい場所。制約が多すぎる土地なので、本当に困っているが、とにかく何か考えて、S I C周辺全体を考えられるようなものをつくってほしいと思っている。

※その他の質問

◆各種選挙における投票率の現状と課題について

決算特別委員会

令和4年度の決算を審査する特別委員会は9月20日～23日の3日間で開催されました。

主な質疑は次の通りです。

- 償還元金を超えない市債の発行という本市の財政規律の見直しについて
- 防犯灯の新設について
- 照明のLED化による電気料の削減について
- 職員のハラスメント対策について
- EV充電設備設置推進について
- クビアカツヤカミキリの駆除作戦について
- ハ王子山墓園の拡張計画の進捗について
- 救急隊の強化拡充について



今期は議員定数30人のうち9人の新人議員を迎えることになりました。

そのうち4人の議員が会派に属せず、ひとり会として活動しています。議会の仕組みや質問の仕方などは議会事務局からレクチャーを受けますが、質問の組み立て方や議会のしきたりや礼儀などは会派の先輩議員から受け継いでいくものです。

議会力を上げていくためには、ひとりひとりの議員の力も上げていかなければなりません。私が個人的に新人議員を対象にした勉強会を立ち上げ、議会基本条例や倫理条例に書かれていないことを含め、コミュニケーションの場を作りました。議会の力を上げるためです。

ご意見・ご感想をお寄せください。
あ相談こともご遠慮なく下記までどうぞ。

久保田たかし後援会事務所

住 所：大泉町坂田1-1-1
TEL：0276-61-9926
FAX：0276-61-8993

市長と議会の関係

今年3月休館した「おおた・北茨城交流物産館バスターミナル駅」を所有者の大雄建設から購入し、新たな市庁舎として活用する。福祉関連の窓口や相談室などを移転する。

そのようなことが9月定例会前に新聞報道されました。どうやら定例記者会見で市長から発言されたことのようにです。もちろん議会は聞いていないし、所管の委員会でも全く提示されていない内容です。当然、議会内は騒然としました。購入するための補正予算も議案として提出されることになっています。

「議会軽視だ。補正予算には賛成できない」

議会内でそんな声が上がりました。

ちよっと待って。補正予算書は議員の手元にありますよ。そこに書いてあるじゃないですか。一方的に市長を責めるのは良くない。補正予算の説明を事前に受ける仕組みを作りました。でも、議員として予算書を紐解く能力が問われる出来事だったと思います。

議員力、議会力を上げなければなりません。

